

闘病記文庫の分類と配架の取り組み

－医学生が利用しやすい本棚を目指して－

島田 祐衣

奈良県立医科大学附属図書館

【背景と目的】

奈良県立医科大学附属図書館(以下、当館)の闘病記文庫は平成 20(2008)年 3 月に開設された⁽¹⁾。当館は令和 7(2025)年 4 月に新キャンパスへ移転し、闘病記文庫は館内出入口近くに設置され、利用増加が期待されている。移転に伴って、書架見出しサインの作り替え作業が必要となった。闘病記文庫の大分類”疾病”における小分類は、闘病記文庫棚作成ガイドライン⁽²⁾(以下、ガイドライン)に沿って分類していたが、開設 17 年が経過し所蔵資料数及び小分類が増えたこともあり、当館独自の小分類を診療の専門分野に着目して検討できるのではないかと考えた。

【方法】

大分類”疾病”における小分類は、病名分類名の NDC 分類及び NLM 分類の分類番号を調査した。病名分類名は医中誌 Web の医学用語シソーラスブラウザで該当する統制語を調査に用いた。分類番号の該当がない病名分類名については、国際疾病分類や統制語の上位概念を参考に分類した。全ての大分類を対象に、総記に分類されている資料について、病名分類の付与を試みた。検討する方法として、インターネットでタイトルや著者の検索、図書館システムの NII 検索より他館の分類の調査、本文の流し読みを行った。

【結果と考察】

大分類”疾病”の病名分類一覧については、当日のポスターにて結果を表で発表する。例として、表 1 に感染症(疾病 1)の分類を表す。NLM 分類体系を基本とし、小分類にピリオドを付して病名分類番号とした。所蔵図書冊数の昇順でピリオド以下を付番した。総記から病名分類付与へ変更した資料についても、当日のポスターにて発表する。

表 1：感染症(疾病 1)の病名分類

病名分類	名	現分類	所蔵図書冊数
疾病1	感染症		
疾病1.1	エイズ	疾病8	23
疾病1.2	ハンセン病	疾病111	7
疾病1.3	結核	疾病39	4
疾病1.4	ポリオ	疾病63	1
疾病1.5	院内感染	疾病5	1

ガイドラインにて病名分類の該当がない資料が総記に分類されているケースが見受けられ、当館の闘病記文庫受入マニュアルの見直しが急がれる。今回の取り組みはこの第一歩ともなり、マニュアルを更新していく。利用者の反応や闘病記文庫の利用統計への影響に関する調査は、今後の課題としたい。

【参考文献】

- (1) 川村殉子. 奈良県立医科大学附属図書館における闘病記文庫の設置. 医学図書館. 56(2). 2009. 127-30.
- (2) 健康情報棚プロジェクト 著. 闘病記文庫 棚作成ガイドライン. 2006